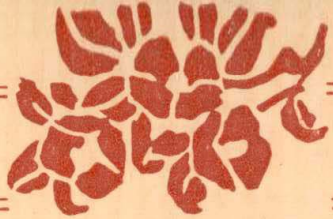

角川文庫

— 1 —

新訂 古事記

付 現代語訳
語句索引
歌謡各句索引

武田祐吉訳注
中村啓信補訂・解説

角川書店

昭和五十二年八月二十五日　初版発行
昭和五十三年七月三十日　再版発行

定価は、カバーに明記してあります

角川文庫

新訂古事記

訳注者　武田祐吉
補訂解説　中村啓信
発行者　角川春樹
印刷者　渡辺竜祐
東京都豊島区東池袋二ノ四五

発行所　株式会社角川書店
東京都千代田区富士見二ノ十三
〒一〇二　東京③一九五二〇八
電話東京（265）七一一一（大代表）

落丁・乱丁本はお取替えいたします

Printed in Japan　都印刷・多摩文庫
0193-400101-0946(0)

新訂 古事記

付 現代語訳
語句索引
歌謡各句索引

武田祐吉訳注
中村啓信補訂・解説

凡例

一　本書は、昭和三十一年五月刊行の、武田祐吉訳注『古事記』をもとに、中村啓信が全面的に補訂し、新たに中村啓信の解説を加えたものである。

一　本書本文は、真福寺本を底本とし、他本をもって校訂を加えつつ、書き下し文に改めた。底本の原態、および校訂の過程については、特別の場合を除き特に注記を加えなかった。

一　書き下し文は、当用漢字を使用し、異体字・別体字・略字などは、通行の字体をもってこれに当てた。また、送り仮名は歴史的仮名遣いの一般的基準に従った。

一　『古事記』は、三巻に分けてあるだけで、内容については別に標題はない。底本とした真福寺本には、上方に見出しが書かれているが、今それによらずに、あらたに章を分けて、それぞれ番号や標題を付け、これには括弧をつけてあらたに加えたものであることを明らかにした。また歌謡には、一連の歌謡番号を付し、検索の便をはかった。

一　現代語訳は、原本の記述に従いつつ、こなれた訳文を試みた。

一　巻末には解説・索引を付し、読解の便をはかった。

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

目次

凡例　三

古事記　上つ巻　序并はせたり

	本文	現代語訳
序文	一七	二〇三
過去の時代	一七	二〇三
古事記の企画	一七	二〇三
古事記の成立	一八	二〇五
一　伊耶那岐の命と伊耶美の命	二〇	二〇六
天地のはじめ	二一	二〇八
島々の生成	二一	二〇八
神々の生成	二三	二〇九
黄泉の国	二五	二一一
身禊	二七	二一三
	三〇	二一六

二　天照らす大神と須佐の男の命　二二八
誓　約　二二八
天の岩戸　二二二
三　須佐の男の命　二二三
蚕と穀物の種　二二三
八俣の大蛇　二二四
系　譜　二二六
四　大国主の神　二二七
菟と鰐　二二七
蜊貝比売と蛤貝比売　二二八
根の堅州国　二二九
八千矛の神の歌物語　二三一
系　譜　二三七
少名毗古那の神　二三八
御諸の山の神　二三九
大年の神の系譜　二四〇
五　天照らす大御神と大国主の神　二四〇
天若日子　二四〇

国譲り　五九　二四四
六　邇邇芸の命　六二　二四六
天降　六三　二四八
猨女の君　六五　二四九
木の花の佐久夜毗売　六六　二五〇
七　日子穂穂出見の命　六八　二五一
海幸と山幸　六八　二五一
豊玉毗売の命　七二　二五五
八　鵜葺草葺不合の命　七四　二五七

古事記　中つ巻　七五　二五八

一　神武天皇　七五　二五八
東征　七五　二五八
速吸の門　七六　二五九
五瀬の命　七六　二五九
熊野より大和へ　七七　二六〇
久米歌　七九　二六二
大物主の神の御子　八三　二六六

当芸志美美の命の変　八五　二六九
二　綏靖天皇以後八代　八七　二七〇
綏靖天皇　八七　二七〇
安寧天皇　八七　二七一
懿徳天皇　八八　二七一
孝昭天皇　八八　二七二
孝安天皇　八九　二七二
孝霊天皇　八九　二七三
孝元天皇　九〇　二七四
開化天皇　九二　二七五
三　崇神天皇　九四　二七七
后妃と皇子女　九四　二七七
美和の大物主　九五　二七八
将軍の派遣　九七　二七九
四　垂仁天皇　九九　二八一
后妃と皇子女　九九　二八一
沙本毗古の叛乱　一〇一　二八三
本牟智和気の御子　一〇五　二八六

丹波の四女王　一〇七　二八八
時じくの香の木の実　一〇八　二八九
五　景行天皇・成務天皇　一〇八　二八九
后妃と皇子女　一〇八　二八九
倭建の命の西征　一一〇　二九一
出雲建　一一三　二九三
倭建の命の東征　一一三　二九四
思国歌　一一七　二九八
白鳥の陵　一二〇　三〇一
倭建の命の系譜　一二一　三〇二
成務天皇　一二三　三〇四
六　仲哀天皇　一二三　三〇四
后妃と皇子女　一二三　三〇四
神功皇后　一二三　三〇五
鎮懐石と釣魚　一二六　三〇七
香坂の王と忍熊の王　一二六　三〇七
気比の大神　一二八　三〇九
酒楽の歌曲　一二八　三〇九

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

七　応神天皇
后妃と皇子女　一三〇　三二一
大山守の命と大雀の命　一三〇　三二一
葛野の歌　一三一　三二二
蟹の歌　一三二　三二三
髪長比売　一三三　三二四
国主歌　一三四　三二六
文化の渡来　一三六　三二八
大山守の命と宇遅の和紀郎子　一三七　三二九
天の日矛　一三八　三三〇
秋山の下氷壮夫と春山の霞壮夫　一四一　三三三
系譜　一四二　三三四
　　一四四　三三六

古事記　下つ巻　一四六　三三七

一　仁徳天皇　一四六　三三七
后妃と皇子女　一四六　三三七
聖の御世　一四七　三三八
吉備の黒日売　一四八　三三九

皇后石の比売の命　一五〇　三三一
八田の若郎女　一五四　三三六
速総別の王と女鳥の王　一五五　三三七
鴈の卵　一五七　三三九
枯野という船　一五八　三四一
二　履中天皇・反正天皇　一五九　三四二
履中天皇と墨江の中つ王　一五九　三四二
反正天皇　一六二　三四五
三　允恭天皇　一六三　三四六
后妃と皇子女　一六三　三四六
八十伴の緒の氏姓　一六四　三四六
木梨の軽の太子　一六四　三四七
四　安康天皇　一六九　三五三
目弱の王の変　一六九　三五三
市の辺の押歯の王　一七二　三五六
五　雄略天皇　一七四　三五七
后妃と皇子女　一七四　三五七
若日下部の王　一七四　三五八

引田部の赤猪子　一七六　三五九
吉野の宮　一七八　三六二
葛城山　一八〇　三六四
春日の袁杼比売と三重の采女　一八一　三六五
六　清寧天皇・顕宗天皇・仁賢天皇　一八六　三七〇
清寧天皇　一八六　三七〇
志自牟の新室楽　一八六　三七一
歌垣　一八七　三七二
顕宗天皇　一八九　三七四
仁賢天皇　一九二　三七七
七　武烈天皇以後九代　一九三　三七八
武烈天皇　一九三　三七八
継体天皇　一九三　三七八
安閑天皇　一九五　三七九
宣化天皇　一九五　三八〇
欽明天皇　一九五　三八〇
敏達天皇　一九六　三八一
用明天皇　一九八　三八二

崇峻天皇　一九八　三八二
推古天皇　一九八　三八三

解説　中村啓信　三八五
語句索引　四〇六
歌謡各句索引　四三三

新訂

古事記

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.c